

# 仕事、裁判だけじゃない

## 何でも司法教室

弁護士

佐藤 力さん



Q 弁護士の仕事は、裁判だけなのではないか。

「弁護士＝裁判」というのが多くの方のイメージだと思います。たしかに弁護士にとって裁判は重要な仕事ですが、それだけにどまりません。むしろ裁判にならない「予防法務」と呼ばれる活動も、弁護士にとって重要な仕事です。

多くの場合、裁判には時間とお金がかかってしまいます。そこで、企業の経営者に対して企業活動をする上での法律上のアドバイス、契約書や就業規則といった会社のルールの作成やチェック、ときには軍師のように交渉の場に同席するなどして、紛争を未然に予防しています。

他にも、行政や医療、福祉と連携をして、高齢者や障がい者、子どものサポートをする「司法ソーシャルワーク」、大学や市民講座で講師をする「法教育」、審議会や第三者委員会での「行政委員」など、私自身もどちらかといえば裁判以外の仕事が多い印象です。

最近では、弁護士そのものの活動領域も広がっています。行政機関や企業など組織に所属して活動する組織内弁護士(インハウス・ローヤー)のほか、海外のNGOや国際機関で活躍したり、国会議員や市長になつたりするなど政治の世界にも弁護士が増えています。

リンカーン、ガンジー、ゲートといった世界の偉人も、実は弁護士です。弁護士は裁判だけではない、様々な可能性と魅力のある職業なのだと考えています。

(佐藤力法律事務所)